

「東海村第4次総合計画（とうかい21世紀プラン）」は、平成13年度からの10年間における村のあるべき姿を示したまちづくりの計画書です。「人・自然・文化が響き合うまち」を基本理念に、「基本構想」、「基本計画」と「地区別計画」の3つで構成されています。

「後期基本計画」は、「基本構想」で定める6つのまちづくりの基本目標 ①安心して住めるまち、②支えあっているまち、③個性といきがいを育むまち、④新たな可能性を創るまち、⑤快適で人にやさしいまち、⑥信頼でつながる自治のまち（ご）に、「前期基本計画」での取り組みの成果、現況、課題を分析し、以後5年間の施策の方向性を整理して、31の政策分野として示しています。

また、「地区別計画」を実行するための新たな住民の自治活動組織として、小学校区ごとに「地区委員会」が設置されました。



響き合うまちは 人・自然・文化が

- 1
- 原子力安全対策の充実
 - 地域防災対策の充実
 - 消防防災体制の充実
 - 多様な交通手段の整備と自転車によるまちづくり
 - 生活環境の整備

安心して
住めるまち

- 2
- 地域福祉の充実
 - 高齢者福祉の推進
 - 障がい者福祉の推進
 - 児童福祉の推進
 - 保健事業の充実
 - 地域医療体制の確立

支えあつて
いきるまち

個性といきがいを
育むまち

- 3
- 明日を担う子どもたちの育成
 - ふれあいのある地域社会の形成
 - 豊かな人間性を育む環境づくり

とうかい 21世紀 プラン

東海村第4次総合計画「後期基本計画」 2006～2010

地区委員会は、地域の団体や人材を幅広くネットワークで結び、地域が抱える課題について、より主体的・効率的に議論を行うことにより総合的に調整または解決を目指す地域自治活動組織です。

地区委員会は、小学校区を単位とした6つのコミュニティ（白方、村松、石神、中丸、舟石川・船場、真崎）ごに置かれ、運営委員会と総合計画の6つの柱に沿った6部会で構成されています。

また、行政は、環境や条件の整備など、地域住民が活動しやすくなるような支援体制をつくる役割を果たします。今後は、地域自治・住民自治への移行を目指し、住民と行政との協働を基本として、地域の特色を生かしたまちづくりに取り組んでいきます。

各地区委員会

(白方、村松、石神、中丸、舟石川・船場、真崎)

種別委員会

安全・安心部会

地区社会福祉協議会 (福祉分野)

青少年育成東海村民会議支部 (教育分野)

農・工・商業部会

建設・環境部会

企画・総務部会

- 広域連携の推進
- 村民参加のまちづくり
- 男女共同参画社会の実現
- 国内交流・国際交流の推進
- 効率的な行財政運営

- 自然環境と生態系の保全
- 調和のある土地利用の推進
- 暮らしやすい都市環境の整備
- 潤いのあるみちづくり
- 快適・安心の住まいづくり
- 上下水道の整備

信頼でつなぐ
自治のまち

快適で人に
やさしいまち

新たな
可能性を創るまち

- 魅力ある農業の振興
- 商工業の振興
- 交流人口の拡大をめざす観光の推進
- 情報ネットワークを活用した消費者対策
- メリットを享受できるひたちなか地区開発
- 高度科学研究文化都市の形成

Tokai Village 21st Century Plan

A Community Where People, Nature, and Culture Exist in Harmony

The Tokai Village Fourth Comprehensive Plan stipulates the basic concept, basic plan, and district plans indicating the desirable form of the village in accordance with the basic philosophy of "a community where people, nature, and culture exist in harmony." For the realization of this concept, the second-term basic program has been formulated, covering the period from fiscal 2006 to fiscal 2010. This program indicates 31 policy areas under six basic targets for community development.

Furthermore, in order to implement the district plans, district committees have been established in elementary school zone units as organizations for local autonomy activities. On the basis of cooperation between the residents and the administration, Tokai will encourage community development that takes advantage of the special characteristics of each district.



デマンドタクシーあいのりくん



久慈川水系一斉クリーン作戦

茨城県国民保護訓練(原子力災害対処訓練)



安全を最優先した まちづくり

原子力関係の施設が数多く立地する東海村にとって、村民の生命と財産を守り、安心して暮らせる、安全なまちづくりは、村の大きな課題です。村では、国、茨城県、関係機関と連携して、村内および隣接する原子力事業所に対する立ち入り検査を行うなど、安全性確保への取り組みを継続的に強化しています。さらに、原子力の知識や防災知識の周知を図るため、村民を対象としたフォーラムや、施設見学会、防災訓練などを実施しています。

また、「東海村地域防災計画」に基づき、村民の生命・身体・財産を原子力災害や自然災害、有事などから守る地域防災対策の充実に努めています。



親子交通安全教室

安心して 住めるまち

とうかい
21世紀
プラン





人・自然・文化が 響き合うまち

東海村第4次総合計画後期基本計画

住民の生命と安全な暮らしを守ることは、まちづくりの最も基本的な責務です。原子力安全対策、地域防災対策、消防体制の整備、生活環境の整備などを通じて、安心して住めるまちの実現を目指します。

さらに、火災の被害から村民の生命と財産を守る消防体制の充実を図るとともに、住民が安心できる救急体制を整備します。

便利で環境に配慮した 交通手段の充実

東海村では、地球環境保全に配慮したまちづくりの一環として、二酸化炭素を排出しない自転車利用を村民に呼び掛けており、共用自転車「エコりん」の運用を実施しています。また、利便性と効率性の高い交通手段として、デマンドタクシー「あいのりくん」の利用を促進するなど、多様な交通手段の整備と自転車によるまちづくりを進めています。

環境にやさしいまちづくり

安全で快適な生活環境を確保し、持続可能な社会を実現するためには、廃棄物の減量化、再資源化への取り組みが必要です。これまでも村では、住宅用太陽光発電システムや生ごみ処理機器設置に対する補助などを行ってきました。今後は、住民との協働でマイバッグ持参運動やエコショップ認定制度の推進など、環境に配慮したライフスタイルの定着を図るとともに、分別の徹底によるごみの減量化・資源化に取り組んでいきます。

Tokai Village 21st Century Plan

Living with Peace of Mind

Tokai Village, which has a lot of facilities related to atomic energy, devotes the utmost efforts to building a community where residents can live with peace of mind. These efforts include the implementation of atomic-energy disaster-prevention drills and the dissemination of basic knowledge concerning atomic energy and disaster-prevention awareness. Also, the local government promotes disaster-prevention measures and the enhancement of fire-fighting and first-aid services based on the Regional Disaster-Prevention Plan.

As part of community building that gives consideration to preservation of the global environment, the Tokai Village government urges the use of bicycles, which do not emit carbon dioxide, and endeavors to promote highly convenient means of transportation, including the use of shared taxis. Furthermore, in order to realize a sustainable society, the local government, in cooperation with residents, is making efforts, among other things, to reduce and recycle garbage.



エコりん (レンタサイクル)

緑ヶ丘セルパトロール隊

緑ヶ丘区自治会・自警団

コミュニティの大きな力に

緑ヶ丘地区で地域パトロールが行われるきっかけとなったのは、地域での空き巣事件の増加でした。そこで当時の緑ヶ丘区長だった石川龍一さんを中心に、平成16年1月に自警団が結成され、防犯パトロールを開始しました。

パトロールをするメンバーは現在約90人。緑ヶ丘地区を南北2地区に分け、1日1回任意の時間帯に巡回します。その効果は絶大で、自警団発足以来3年間、空き巣はまったく発生しなくなりました。「ポイントにはあいさつ声掛け運動」を行うことで、誰もが顔見知りになれる点です。この運動によって、防犯面のみならずコミュニティ一づくりにも貢献していますよ」と、



平成16年に結成した当時の自警団。当初は約20人でスタートしました。



緑ヶ丘区自治会で発行している「緑ヶ丘防犯だより」も防犯意識の向上に役立っています。

In order to realize a safe and secure village without crime or accidents, the residents, utilizing the power of the local community, do what they can by themselves. Such activities as crime-prevention patrols and safeguarding children to and from school are spreading.



「東海ゴールドパワーズ」というソフトボールチームが設立20周年を記念、記念行事の一環として地域に貢献したいという部員の強い要望により、当時百塚地区になかった子どもたちを守るパトロール隊を平成18年2月に発足させました。

言葉とともに心を交わす

「こんにちは！」おかえりなさい！あつ、車が来るよ、気を付けて！元気良くあいさつする子どもたちと、笑顔を返すおじさんたち。青いキャップに腕章姿で、下校する小学生を優しく見守るのは、白方学区地域安全パトロール、東海ゴールドパワーズ安全パトロール隊の皆さんです。



地区のウォークラリー大会で交通整理をかって出たり、敬老会で手打ちそばを振る舞ったりするなどの活動も行っています。

現会長の笠原武士さん。そのほか、「空き巣多発警戒中」看板の設置や、広報紙「緑ヶ丘防犯だより」の発行、子どもたちのための「安全マップ」の作成などを行い、日ごろから住民に防犯への意識を促しています。また、警察からも防犯ベストと警棒の支給を受けています。

「最近では学校と連携して、児童・生徒の下校時のパトロールも行っています。メンバーの年齢は30代後半から80代までと幅広いのですが、年々の高齢化が気掛かりですね。その一方で、女性メンバーも8人参加してくれています。女性の方がより地域に密着した生活をしているので、巡回中に顔見知りや会う機会が多く、連帯感や連携の向上に力を発揮してくれます」とのこと。

今後は、犯罪発生情報を村や警察から提供してもらいたいことと、パトロールする人の高齢化や安全面等への対応が課題だそうです。こうした体制を整えていくことで、さらに安心・安全なまちにしていきたいと、皆さん力強く声をそろえています。

「犯罪や事故のない安心・安全なまち」を実現するために、地域の力を生かし、自分たちができることは自分たちで。防犯パトロールや子どもたちの登下校時の見守りを行う活動が広がりを見せています。



発足当時の地区会長・石川龍一さん(左)と現会長の笠原武士さん(右)



安全・安心
なまちづくり

人・自然・文化が響き合うまち



車で通り掛かるお父さん、お母さんからの「ご苦労さまです」の声にも励まされます。

東海ゴールド パワーズ安全パトロール隊

白方学区地域安全パトロール

自治会の有志も加わり、今では総勢52人。平日の午後、小学1・2年生の下校時間帯に、交代で路上に立って声を掛けます。

「登校時は、通学団といって近所の子ども連れ立って歩くんだけど、下校の時間は学年でまちまち。安心して帰れるよう、手助けできればと思ってね」と、隊長の根本昇さん。当初は子どもと並んで歩いたりもしましたが、危険なポイントに立って意識付けをした方が有効だろうと、このスタイルに落ち着いたそうです。

学校が作成した危険箇所マップを参考に、線路脇の草やぶに怪しい人はいないか、車とすれ違う際や踏切内に危険はないかなどに注意しています。なかよし防犯パトロール隊をはじめ、ほかの地区や学校とも密に連絡を取り、事故や不審者についての情報も共有しています。「子どもたちとはすっきり顔なじみだね。長い距離を歩いてくるから、声を掛けられるとホッとしてみたいだよ。荷物が重くて泣きべそをかいている子を手伝って、家の近くまで送ることもある。」「ニッコ」とされるとかわいくてねえ(笑)。

地域の安全を守るだけでなく、子どもたちの心のよりどころにもなっている隊員たち。格好良いですね！

あなたとヨカイ隊



支えあつて いきるまち

高齢者・障がい者を支える 福祉の推進

東海村の高齢化率は、平成18年10月1日現在、17・4パーセントで、今後ますます高くなることが予測されます。そのため、介護サービスなどに係る費用の適正化を目指し、高齢者の健康寿命を延ばす取り組みに力を入れています。高齢者の健康づくりでは、各種教室を開催し、参加者一人一人に合わせた介護予防事業を行うことで、介護の要らない元気な高齢者を増やしていく方針です。また、高齢者が住み慣れた家や施設で安心して生活できるように、子どもから大人までみんなで見守る仕組みを整えていきます。

障がい者福祉に関しては、障害者自立支援法の下、在宅、地域における多彩な福祉サービスを整備しているほか、市町村独自事業となる地域生活支援事業において、相談支援、移動支援、

総合福祉センター「絆」



保育所の園児たち



村立東海病院での診察の様子



人・自然・文化が
響き合うまち

東海村第4次総合計画後期基本計画

Tokai Village 21st Century Plan

Helping One Another

Amid the advance of the aging society, Tokai Village is devoting efforts to lengthen the healthy life span of people, such as the organization of health classes, with the aim of increasing the number of healthy senior citizens who do not require care. Regarding welfare for disabled persons, the village's policy is to strengthen livelihood support at home and in the community. Regarding child welfare, assistance is continuing, including the deepening of mutual exchange among child-raising families. And with regard to medical services, the village aims to improve local medical treatment centered on the newly opened Municipal Tokai Hospital.

交通バリアフリー教室のインスタントシニア体験



日中一時支援事業などを実施し、よりきめ細かい福祉サービスを提供できるよう努めています。

また、各種助成、手当・年金の給付など経済面での支援も引き続き実施していきます。

今後は、障がい者が地域の中で自分らしく生活できる環境を整え、ボランティアなど障がい者を支える地域住民のネットワークの構築にも取り組んでいきます。

児童福祉の推進

子育て情報の提供や相談、保護者や子どもとの交流では、子育て支援センターや長堀すこやかハウス、児童センターが有効活用されています。今後は、子育て家庭の孤立化を防ぐため、情報発信をはじめ交流の場や機会を増やすなど、さらなる支援を続けていきます。

地域医療体制の確立

平成18年に開院した村立東海病院は、地域医療の中心的役割を担う病院として、外来診療体制を強化し、内科・小児科の充実を図りました。また、新たに整形外科・リハビリテーション科を開設したほか、40床の一般病棟や40床の療養病棟を配置するなど、高齢社会に対応した療養環境を備えました。今後は、村立東海病院を中心に保健・医療・福祉の連携を図り、地域医療のさらなる向上を目指していきます。



はつらつ健康体操



シルバー人材センターの活動

人が集つ社会には、人々の連帯と助け合いが不可欠です。誰もが社会の一員として受け入れられ、生涯にわたって生きがいのある健康な生活を送れるよう、保健・医療・福祉の連携を通じて、支えあつていきるまちの実現を目指します。



たくさんさんの思いを込めて

ひとり暮らしのお年寄りなどのお宅へ手作りのお弁当を届ける給食サービスは、各地の「コミュニティセンター」を拠点に、総勢900人もボランティアの皆さんの手で支えられています。ここ舟石川コミュニティセンターでは、毎週水曜日に80食余りのお弁当を作り届けています。



「衛生第一はもちろん、ご飯は軟らかく、揚げ物や油っこい物は控えて、味付けも薄味にしています。自分の家族に作るような気持ちで、心を込めて調理していますよ」と、献立作りの工夫にも思いやりの気

持ちがつかえます。

出来上がったお弁当は、配送グループの皆さん、通称カーボラさんに託されお宅へ配られます。戸別配達のほか、各地の中継点から各戸へ届ける人たちの助力もあり、一つのお弁当に多くの人たちの真心が込められています。

「手渡しには、皆さんの安否確認の意味



東海村在宅福祉支援
給食サービスサークル連絡会

健康と福祉
のまちづくり

人・自然・文化が響き合うまち

たくさんの人たちが一緒に住むまちだから、お互いに助け合い、ふれあって、笑顔で暮らせるまちに。ひとり暮らしのお年寄りへの給食サービスや、地域ぐるみで子育てのお手伝いをするなど、いろんなつながりと出会いが、地域の力になっています。



優しい笑顔に赤ちゃんの表情も和みます。



おおよそ子ども2人に1人のサポーターがつかます。「一期一会」の時間を大切に、楽しく過ごすよう心掛けています。

お母さんの笑顔は宝物

少しだけ子どもを預けて、用件を済ませたりリフレッシュする時間が欲しい…。そんなお母さんたちの願いを受け止めるのが、保育サポート「すくすく」の皆さんです。コミュニティセンターなどで行われる

できたてのお弁当をカーボラさんにバトンタッチ



て、元気がどうか様子をうかがったり、お話をすることがとても大切なんですね」。手作りのお弁当を作るようになって10年ほど、温かいお弁当を食べていただくだけではない、大切な役割も担っています。

満面の笑みでカーボラさんを出迎えてくれたのは、菅谷きみ江さん。「それはそれは毎週が楽しみです。短い時間だけど、こつやって顔を合わせて話をするのが何よりうれしいわぁ」。お弁当を通して、ボランティアの皆さんの思いが、しっかりと届けられているようです。



この日のメニューは、鮭ごはんに切干大根、甘辛じゃがいも、金柑甘煮、青菜のごま和えなど。栄養も色どりもバランスよく。

もあるんですよ。毎週顔を合わせ



「本当においしいよ」とお弁当を受け取る菅谷きみ江さんは、かつてお弁当の作り手として給食ボランティアに参加していました。

Since many people are living together in the village, it is important to build a community in which people help one another, have contact with others, and live with smiling faces. Activities include a meal service for elderly people living alone and help in child raising by the community as a whole. Such bonds and encounters grow into the power of the community.

保育サポート

すくすく

エアロビクス教室で、お母さんたちが一汗流している間、別室で子どもたちをお預かりしています。エプロン姿の会員さん（通称サポーター）とたくさんのおもちゃに囲まれて、みんなとても楽しそう。

「家にもって育児していると、お母さんにストレスがたまり、子どもはそれを感じ取って余計に駄々をこねる、という悪循環が起ることがあります」と話すのは、会長の川亦洋子さん。約80人のサポーターは30代から70代と幅広い年齢層ですが、共通しているのは、みんな子どもが大好きなこと。この日のような団体保育のほか、個別の一時預かりにも対応しています。

「ちょっとした息抜きの時間を持つことで、お母さんがすっきりして笑顔になり、子どもたちもニコニコ。お世話する私たちまで元気をもらえちゃうんです」。それはまさしく、「石三鳥」の効果です。



「お母さんには、いつも子どもときちんと向き合っていてほしい。そのお手伝いが少しでもできたらうれしいですね」。東海村のお母さんたちには、強力な応援団が付いているようです。肩の力を抜いて、たくさん楽しみながら、頑張り子育て！



川亦洋子さん



パソコンを使った小学校の授業



NHK夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会

総合体育大会（ホッケー競技）



東海村文化祭

明日を担う子どもたちの育成

「教育立村」の伝統を堅持し、確かな学力と豊かな心を持つ「人づくり」を目指した幼児教育・学校教育の充実に努めています。具体的には、スタディサポーターや専科指導員などを活用したきめ細かい学習指導の充実を図るとともに、地域や自然事象とのかかわりを深めるためのマイスクール推進事業や総合的な学習の時間などに取り組んでいます。また、英語教育については、全小中学校にA・L・Tを配置し、9年間を見通した「話せる英語教育」の充実に力を入れています。

幼児・児童生徒の安全確保については、地域の安全パトロール隊による見守り運動や行政が主体となった巡回パトロールなど、学校・地域・行政が一体となった対策を講じています。また、

とうかい
21世紀
プラン



個性といきがい を育むまち



人・自然・文化が 響き合うまち

東海村第4次総合計画後期基本計画

人間の幸せには、物質的な豊かさだけでなく、心の豊かさが必要です。明日を担う子どもたちを地域全体でなく、心も豊かさを必要とする。ふれあいのある地域社会の形成、新しい地域文化の創造を通じて、個性と個性が育むまちを目指します。



子どもたち一人一人の存在感が見える学校づくりについては、スクールカウンセラーを配置するなど、気軽に相談できる体制を整え、児童生徒や保護者の不安や悩みに対応しています。さらには、幼児期からの食生活や基本的な生活を見直す運動を学校・地域が協働して展開し、家庭の教育力を高める取り組みを進めています。

心豊かな地域社会と人間性を育む環境づくり

余暇時間の増大によって多彩な文化的ニーズが高まる中で、東海村では誰もが生涯学習に取り組める環境づくりを進め、すでに茨城県内でトップクラスの幅広い学習機会を提供しています。今後は、これらを踏まえ、高度科学研究文化都市にふさわしい施設の整備・強化を進めるため、行政と住民の話し合いを深めていく方針です。

また、芸術・文化・スポーツ・レクリエーション活動の一環として施設の充実に力を入れてきましたが、今後は住民ニーズを踏まえ、住民との協働で東海文化センターや総合体育館などの整備・運営に取り組んでいきます。

さらに、村の文化財や自然などについても、ボランティアの育成を図り、地域と協働で保存と保護活動を進め、貴重な文化遺産に親しむ機会を増やしていきます。

Tokai Village 21st Century Plan

Nurturing Individuality and Purposefulness

Tokai Village is endeavoring to enhance infant and school education with the aims of maintaining its tradition as a "village of education" and fostering students with a solid academic ability and affluent spirit. Regarding the problem of bullying, efforts are continuing to respond to the concerns and worries of children and parents, for example through the appointment of school counselors.

With regard to lifelong learning, Tokai Village provides some of the best learning opportunities in Ibaraki Prefecture. And the village, in cooperation with the community, also promotes activities to maintain and protect the cultural heritage and nature and increases opportunities for residents to become familiar with the local cultural heritage.



コミュニティセンターはさまざまな学習活動の場

カナリア

東海村ハーモニカを楽しむ会

すてきな音色と笑顔広がる

東海村ハーモニカを楽しむ会「カナリア」は、3年前に開講された中央公民館講座を機に生まれました。現在20数人のメンバーで、毎月2回の練習を重ねながら、地域のイベントや幼稚園、養護老人施設の行事にボランティアで参加するなど、そのハーモニカとメロディーがさわやかに広がっています。

「メンバーの親睦を深めながら、演奏技術の向上に努めています。何より生きがいづくりに大変役立っていますよ」と会長の川崎真弘さん。子どもたちの前で演奏する



舟石川幼稚園のおたのしみ会で、「ハーモニカの調べ」のステージを披露しました



However old they get, people never lose the desire to learn, and the path of growth and experience is never-ending. Teaching and being taught, people share the enjoyment and achievements of study throughout their lifetimes. Exchange that transcends various fences leads to a more affluent life for people and for the community.



すがすがしい秋の晴天の中で行われたウォークラリー大会には、200人を超える皆さんが参加しました。



恒例の「親子ふれあいハゼ釣り大会」、
「ウォークラリー大会」に加え、白方小学校の卒業生のための

子どもへのまなざしを常に
地域の力とアイデアを生かし、東海村の未来を担う子どもたちのために、青少年育成東海村民会議の各支部では、地域の実情に応じたさまざまな取り組みが進められています。

白方支部青少年委員会では、平成18年度の活動として、



白方小学校卒業生に送る「赤飯パック詰め弁当」を前に、白方支部青少年委員会の皆さん。平成18年度は180人分を朝早くから準備しました。

日は、皆さん、何日も前からワクワクして楽しみにしているんですよ。」

「簡単そうに見えるでしょ？ いやいや奥が深いんですよ」と、4つのパートでアンサンブルを奏でる難しさ、うまく演奏ができたときの達成感など、ハーモニカの魅力を語り始めたら、皆さんの声一段と大きくなり、演奏の楽しさもさることながら、それを誰かに聞いてもらえることのうれしさに、感謝の気持ちと向上心がわくわくしてくるようだった。皆さんの笑顔とお話からは、学ぶことの楽しさや大切さが伝わってきます。

「学校で教えることがなくなったのは残念です。ぜひ若い人や次の世代に、もっとハーモニカに親しんでもらいたいですね」と、グループの技術指導をされている藤井義雄さんからのメッセージ――。

幾つになっても学ぶ気持ちを大切に、成長と経験の歩みは止みません。生涯にわたって教え、教えられ、学習の楽しみや成果を分かち合いたい。さまざまな垣根を越えた交流が、人と地域の暮らしをより豊かにしています。



♪「ド」はドーナツのド。「レ」…知っている曲の演奏に合わせて、一緒に歌いましょう。



教育と文化
のまちづくり

人・自然・文化が響き合うまち



平成18年で第19回を迎えた「親子ふれあいハゼ釣り大会」。「大物賞」と「大漁賞」を目指し、167人が参加しました。

白方支部 青少年委員会

青少年育成東海村民会議



「赤飯バック詰め弁当づくり」を実施しました。その活動の様子や、青少年健全育成のための地域の役割などについて、「行事へは、子どもたちの参加はもとより、地域の皆さんの参加や協力も、ここ数年増えてきました。学校や村全体としてのバックアップもあって、大変にぎやかでしたよ」と、委員長の箭内勝寿さん。

青少年を取り巻く環境は、年々変化しています。核家族化、少子高齢化は一層進行し、過大な情報流通による有害環境の増加も懸念されます。「そんな状況だからこそ、地域の大人が子どもたちを見守り続けることが大切です。何かの行事で、どこかで顔を合わせたことがあるだけでもいいですからね。外で会えば、お互いにあいさつをすることもできるし、そういう街であり続けたいと願っています。」

特に、17回を数えるウォークラリー大会では、参加者が飽きずにもっと楽しめるように、演出や問題作りに手を変え品を変え、毎年頭を悩ませているとのこと。子どもたちのために、こうして地域の大人たちが知恵を出し合い、力を合わせている姿は、子どもたちの目にも、きつと力強く、頼もしく映っているのではないのでしょうか。

新たな可能性を 創るまち



特産の干しいも作り

魅力ある農業の振興
農業は食糧を生産する産業であると同時に、地球環境を保全する役割を担っています。
東海村では、本格的に農業を営む人々に対し、県の地域農業改良普及センターの協力を得て、栽培研修や情報交換、経営改善計画支援などを行っています。しかし、農業従事者の高齢化



平原工業団地

Creating New Possibilities

Since the average age of agricultural workers in Tokai is getting older, the local government is making efforts to train and organize successors and to foster women farm workers, retirees who wish to return to the land, and newcomers to agricultural work. At the same time, in cooperation with local residents, the policy of the local government is to endeavor, among other things, to enhance the brand image of the dried sweet potato that is a local specialty of Tokai.

In the development of industry, the local government is promoting cooperation with universities and related institutes and making efforts to broaden joint development and exchange. As for tourism, in addition to existing tourist resources, the local government is promoting the development of new tourist resources and building tourist bases.



稲刈り風景

Tokai Village 21st Century Plan

新規就農者への支援を行っています



駅前大型店



時代のニーズに合った 商工観光の展開

東海村の商業は、大型店との共存を

が進んでいることから、農業後継者の育成や組織化、農業集団の自立、農業を楽しむ女性農業者・定年帰農者・新規就農者の育成など、多様な担い手の確保に取り組んでいます。

干しいもは東海村の特産品であり、全国有数の産地でもあります。このような特産品を「東海村ブランド」に育て上げ、農産物の価値を高め、経営の安定化を図るための支援を、行政と住民の協働により推進していきます。

人を引きつける活力あるまちの重要な要素は産業です。農業・商工業が活気にあふれ、訪れて楽しいまちづくりを進めるとともに、ひたちなか地区開発を生かし、高度科学研究文化都市の形成を通じ、新たな可能性を創るまちを目指します。



進めるとともに、より活力あるまちづくりを目指すため、住民の多種多様なニーズに応える新しい小売りシステムや、核となる商業基盤づくりを進めています。東海村商工会では、経営指導員を中心に商工業者へアドバイスを行うなど、新たな消費者の開拓に努めています。また、大強度陽子加速器施設（J-PARC）の稼動に伴う外国人の来村を、新たなビジネスチャンスとして生かす事業展開を進めています。このほか、インターネットの活用や特産品を生かしたイベントの開催などに力を入れています。

工業では、ひたちなか地区への企業誘致や大学および関係機関との連携を積極的に進めるなど、共同開発や交流を広げる取り組みを推進しています。

観光の振興については、既存の観光資源の維持と有効活用、他分野との連携も含めた新たな観光資源の開発や観光拠点整備を住民と一体となって進め、交流人口の拡大を目指しています。

果樹栽培



人・自然・文化が 響き合うまち

東海村第4次総合計画後期基本計画

**味も新鮮さも
間違いなし**

開店前から入口に並ぶお客さんの列、開店と同時に店の中は大忙し。何より新鮮・安全・安さの三拍子で多くのお客さんに愛されています。

「朝、すぐその畑で取ってきたばかりだよ。自分たちで食べるのと同じ物だから見てくれはなんだけど、うんまいよ」と、赤いエプロンのおばちゃんたちのお墨付き。ほとんどの野菜が100円均一で購入できるのも、分かります。相場が安いときはそれほどでもないけど、市場が値上がりしたときはすごいよ。真冬でも汗だくになっちゃうほど」と、お客さんの入りで市況がつかめるそうです。

5人のおばちゃんたちは地元船場の農家の皆さん。自ら育てた物だから自信を持って薦められるし、買い手も安心していただくことができます。売り買いばかりでなく、料理や献立の相談にも乗ってくれるし、常連の方とはよもやま話で盛り上がりします。



お客さんとの会話は、おいしい食べ方や調理法、旬の食材の情報など。時には世間話にも花が咲きます。

フラワー会

新鮮野菜直売所

開店と同時にお客さんの出入りがひっきりなしの忙しさ。

人・自然・文化が響き合うまち

特色あるもの作りや盛んな交流の機会は、まちに、より多くの実りとにぎわいを呼び起こします。地域に根差したアイデアやマンパワーを活用し、時代のニーズに合った新しい試みや工夫が、活気と元気を生み出しています。

産業と賑わいのまちづくり

TSSのマークは、東海村(Tokai Mura)商工会(Shokokai)青年部(Seinenbu)の印



東海まつりでの「ボーリング大会」の様子

交流を広げ村のにぎわいに

東海村商工会は、村の商工業の振興はもとより、地域住民との対話を通してまちづくりに貢献しています。その青年部は、商工業さまざまな分野で活躍する40歳以下の

若きメンバー43

人が所属しており、村内での起業を考える若者をサポートするなど、活力ある「東海村づくり」の力強い推進力です。

主な活動の舞台は、東海三大祭りなどでのにぎわいの場づくりで、その盛り上げに一役かっています。中でも、秋の一大イベント「東海100M.O.のまつり」は、恒例の大抽選会の企画運営を手掛けており、平成18年の大抽選会には約2200人が参加するなど大盛況となりました。ま



の維持と継承
につながって
こせよ。

売ってしまった棚にない物は、リクエストがあれば、畑まで取りに行ってくれることもあるのだとか。
一段落着いた昼過ぎにやっと一休み。「こうして顔を合わせであれこれ話すのが何より楽しい。お客さんからおいしかったよ、また来るねって、じかに言ってもらえるからね。それが10年続けてこれた秘訣かな」と、皆さんが声をそろえます。ただ、お客さんの評判に人手が追いつかない現状もあり、なかなか後継者が見つからないという悩みもあるそうです。



Opportunities for making original things and engaging in lively exchange bring even more fruits and dynamism to the community. New experiments and creativity that utilize ideas and human resources deeply rooted in the community and meet the needs of the time are giving rise to energy and vitality.

毎週土曜日、7・8月は水曜と土曜の週2日お店が開きます。10年間でお休みは、なんとたったの2回のみ。

大抽選会では、海老原さんの右手が運命を握ります。



「子どもたちが、東海村に自分の店を持ち、ここで商売をしたいと思えるような村にしていきたいですね。地域の発展のため、縁の下の力持ちとなつて応援していきたい」と思っています」と、より若い世代へのエールを送ってくれました。

東海村商工会 青年部

た、東海まつりでは、子どもたちにも楽しんでもらえるボーリング大会を企画しました。

「イベントを通して、東海村に多くの人が訪れ、商工業が活性化するといった地域還元の効果に期待しています。また、多くの人と知り合いになったり、いろんな団体から協力を得られたりしたことは、青年部として身近な場での良いPRになりました」と、青年部長の海老原安智さん。

東海村は、原子力関連施設の立地による人口の移動が多く、その経済効果も大きいのが特徴で、宿泊業も盛んとのこと。また、真崎商店会では、原子力関連の外国人客に対応できるように、外国人講師によるビジネス英会話教室を開いているそうで、受講者の多くは商工会青年部だということです。



海老原安智さん



心豊かな生活には、豊かな自然や落ち着いたたたずまい、身近な緑など生活への潤いが欠かせません。自然環境の保全、美しい都市景観形成と公園緑地の整備、都市基盤の整備などを通じて、快適で人にやさしいまちの実現を目指します。

都市計画道路五反田線の整備状況



人・自然・文化が響き合うまち

東海村第4次総合計画後期基本計画



落書き防止のための壁画制作

動が活発化しています。

動植物の最新の実態を冊子「東海村の自然（平成18年度版）」にまとめるとともに、住民参加で策定した環境基本計画に基づきながら、緑地保全と緑化推進に関する条例を定め、自然環境の保全に取り組んでいく方針です。また、ボランティアの協力で村花スカシユリの増殖や、ピオトープづくりが進められるなど、住民主体による自然保護活動が活発化しています。

自然環境の保全と美しい都市環境の整備

東海村は豊かな自然に恵まれています。一方、都市化の進展による変貌を余儀なくされています。こうした中、村民の自然への関心は高く、里山や砂浜、川の景観保全と再生が強く求められています。

とうかい
21世紀
プラン



快適で人に

やさしいまち



下水道整備の様子

第13回環境自治体会議東海村会議



公園・緑地の整備(ふれあいの森公園)

調和のとれた土地利用と都市基盤の整備

一方で、東海村の都市景観をつくり出すには、村民の理解と継続的な努力が必要です。まちの美観維持のため、村では違反広告物の撤去を行ってきました。回収量は年々減ってきたものの、違反が後を絶たないことから、引き続き撤去作業を続けていきます。

心に潤いと安らぎをもたらす公園の整備では、地域住民とコミュニケーションを図りながら整備を進めています。豊かな自然を生かしながら、子どもからお年寄りまで、誰もが安全で安心して楽しめる憩いの場を提供していきます。

土地利用では、「東海村国土利用計画」―東海村都市計画マスタープラン―などを策定し、広域的な観点から目標や方針を定めました。都市計画道路の延伸事業を引き続き進めるほか、広域幹線道路の渋滞解消に向けて、国や茨城県に早期整備を要望しています。また、生活道路に関しては、地域の実情を踏まえながら、歩道を中心に整備を進めていきます。

誰もが快適に、安心して暮らせる住まいづくりを支援するとともに、安全な水の安定供給と衛生的な生活環境のために、上下水道の整備を進めます。

Tokai Village 21st Century Plan

A Pleasant and People-Friendly Community

The residents of Tokai Village are highly aware of the importance of protecting nature and the environment. The local government has produced a pamphlet titled Tokai's Nature and is promoting the protection of the natural environment and tree planting. Regarding urban scenery, the local government is continuing work to clear away illegal advertisements and, together with the residents, is promoting park construction. With regard to land use, the local government stipulates plans from a wide-area perspective and requests the state and Ibaraki Prefecture for the early construction of main roads. Regarding local roads, the construction of pavements is being promoted in response to local conditions.



区画整理事業により整備されたまち並み

みつばエコクラブ

ガールスカウト茨城県第25団

身近な環境に目を向けて

みつばエコクラブは、東海村で活躍するガールスカウト一団の「環境を学び考える」自主活動として11年前に発足しました。中でも「水」に関するテーマに毎年継続して取り組んでおり、15人のスカウトとともに水辺の生き物による川の水质調査を行った「とうかい環境フォーラム」へ参加したりするなど、さまざまな活動を続けています。「次世代を担う世界市民として、環境への高い意識を持った人間に育ってほしい」と、クラブの目的を語る代表の安節子さん。最初は生き物を怖がっていた子どもたちも、間近に見てじかに手で触れるなど自然とふれあううちに、自然への関心や環境の



毎年実施している河川の水质調査では、採取した生き物を手掛かりに水质の判定を行います。



「住宅建設が盛んなこともあり、雑木林や斜面林の環境が気掛かり」と、安さん。空や木々を見て季節を感じる暮らしをいつまでもと願っています。

快適環境
のまちづくり

人・自然・文化が響き合うまち

In order to protect and nurture the local nature and scenery, it is, first and foremost, the people who actually live there who can act. These people come into contact with the environment on a daily basis. If every individual acts with interest and awareness, their efforts accumulate into a great force spreading throughout the whole village and the whole of society.

楽しみながらまちをきれいに

「環境や福祉の面で、地域の役に立てたらと考えたんです」と、ひまわりグループ結成の目的を語る会長的一条紀代子さん。スタートは5年前、会員は10人でした。

最初に取り組んだのは、アルミ缶の「回収ステーション」作りです。廃材を組み上げて会員宅の庭に設置。それぞれの家から持ち寄ったアルミ缶を売り、2年後には、収益金で買った車いすを総合福祉センター「絆」に寄付しました。

次第にご近所や知り合いも協力してくれるようになり、続いて寄付した木製のベン

「絆」の庭にある木製ベンチ。背面に小さく「ひまわりグループ」の名前が。



きれいに咲き誇る季節を思い描きながら、一つ一つ花を植えています。



大切さを身に付けていくのだそうです。「知識や体験を少しずつでも積み重ねていくことで、子どもたちの理解力や行動力が高まります」。実際に、家や学校で捨てたごみの行方や、温暖化の仕組みを自分たちで調べ、どうしたら良いのかを自分たちの考えで導き出すなど、環境への意識を着実に育てているようです。

「大切なことは、まず環境について意識すること、子どもに限らず誰もが身近な環境に目を向けることです」。そのために、みつばエコクラブでは、団員以外にも活動への参加を広く呼び掛けたり、積極的に発表の場を設けたりしています。「皆さんも、どんなに身近で、小さなことでもいいですから、私たちと一緒に環境について考えていきませんか」。

身近な自然や景観を守り育てるために、そこに住む人たちだからこそできること。自分たちが毎日接する環境だから、一人一人が関心と意識を持って行動すれば、村全体、社会全体に広がる大きな力になります。



「とうかい環境フォーラム2005」に参加して、水質の判定実験や調査結果の発表を行いました。

チラシや包装紙で作ったコサージュ（襟や胸、肩などに留める小さな花飾り）。黄緑色のものは、役場の封筒から作ったもの。



ひまわりグループ

地域の環境を考える自主活動

チも、「絆」の庭園内で利用されています。

毎年5月には、街路樹の下にマリ―ゴールドやサルビアの花を植えています。各自、担当の場所が決まっているので、「散歩で通り掛かると、さりげなく雑草を抜きますね。隣がきれいにしてるのを見てちょっと焦ったり(笑)」。お互いに競い合ってさらなる環境美化とはすてきです。

毎月の定例会では、チラシを使ってコサージュを作ったり、洗剤いらすのアクリルたわしを編んだり。ワイワイおしゃべりしながらの作業で、皆さん楽しそう。完成品の一部はふれあい福祉まつりに出品していて、なかなか好評だそうです。

「もっとたくさんの人に参加してほしいんです。でも、アピルが下手で…」と遠慮がちな一条さんですが、人が人を呼び、現在は35人で活動中です。「趣味として楽しみながら、人にも喜んでもらえるなんてうれしいですね。私たちのトレードマークは、この笑顔なんですよ!」集会所には、笑い声が明るく弾けます。気負わずに、できることから。皆さんも、一緒に始めてみませんか。



信頼でつなぐ 自治のまち

村民参加のまちづくり

東海村では、平成18年4月から従来の区長制度から自治会制度へ移行しました。これは、地域の住民が親睦や交流を通じて連帯感を培い、地域の課題に協力して取り組むための仕組みづくりを目指すものです。今後は、自らの生活課題を自分たちで解決できるコミュニティを理想とした、自治会の運営に取り組んでいきます。また、各小学校区を範囲として、総合計画に定めるまちづくりの分野ごとに、6つの部会と運営委員会からなる新たな地区委員会を組織しました。この地区委員会は、自主性と責任を持った村民主体の地域づくりの気運を高めるとともに、一人一人の個性が輝く地域づくりの推進を図る地域自治活動組織として、行政との協働によるまちづくりの推進を目指していきます。

国内交流・国際交流の推進

東海村姉妹都市交流会館を拠点として、外国人支援や国際理解の促進に取り組んでいます。国内では住民が主体的に交流・促進を図るために、他市町村の情報収集や情報提供に努めています。国際交流では、昭和56年に姉妹都市の盟約を結んだアイダホフォールズ市との交流をはじめ、国際交流協会による異文化交流が活発に展開されています。



姉妹都市交流アイダホフォールズ市の交換学生

人・自然・文化が 響き合うまち

東海村第4次総合計画後期基本計画

アイダホフォールズ市一般訪問団来村記念植樹



Neighborhood Associations Foster Trust

In Tokai Village a system of neighborhood associations has been established in order to build community bonds and enhance efforts to tackle problems of daily life, and community development is being promoted through cooperation between the local government and these associations.

As well as promoting exchange with other regions and international exchange, efforts are being made to promote the appointment of women to councils and other forums and to encourage the participation of people from a wide range of age groups in community building.

Regarding administrative and financial management, from now on it is expected that municipal tax revenue will decrease and the ordinary balance ratio will increase, so efforts are being made to restrain ordinary expenditures and ensure revenue sources. At the same time, efforts are being made to boost the effective use of resources, including rational personnel management, and the efficiency of the administrative system.

Tokai Village 21st Century Plan



第2次東海村男女共同参画行動計画
(レインボー・ビジョン21)

男女共同参画社会の実現

男女平等意識の浸透に向け、各種セミナーや講座開設のほか、継続的な意識調査を実施するなど、さまざまな施策を展開しています。

さらに、「第2次東海村男女共同参画行動計画(レインボー・ビジョン21)」を策定し、男女がお互いの人権を尊重しつつ、個性と能力を十分に発揮し、平等な立場で生き生きと生活できる社会づくりを目指しています。

効率的な行財政運営

「第3次行財政改革大綱(集中改革プラン)」に基づき、簡素で効率的な行政システムを確立するため、さまざまな改革を推進しています。村の財政状況は、経常収支比率および起債制限比率が全国平均を下回り、財政力指数が1・0を上回る普通交付税不交付団体となっています。しかし、今後は村税が減少し、再び経常収支比率が上昇すると予測されるため、事務事業の見直しを行い、経常経費の抑制や財源の確保に努め、資源の有効活用と財政運営の効率化に努めています。

組織に関しては、行政需要に適合した簡素で効率的な組織運営に努めています。給与制度では、国の公務員制度改革に合わせて、人事考課制度に基づく評価結果を適切に反映できる給与システムの検討を進めています。

住民主体のまちづくりを進めていくために、どれだけ多くの住民がかかわっていくかが重要です。広域連携の推進、住民参加、男女共同参画社会の実現、地域間・国際交流の活発化、行財政運営の効率化を通じて、信頼でつながる自治のまちの実現を目指します。



村政懇談会

ふれあいしらかた交遊会まつり



地区委員会の仕組み

地区委員会は、東海村第4次総合計画に基づきまちづくりを実現するために、地域住民のさまざまな団体や個人で構成する地域自治活動組織です。村内の各小学校区を対象範囲として、6つの地区委員会が設けられています。

各地区委員会は、東海村第4次総合計画の6つの分野別計画を基本とした6つの部会と、それら部会の調整役を担う運営委員会で構成されます。村民が自主性と責任を持ち、村民主体の地域づくりの気運を高めるとともに、村民一人一人の個性が輝く地域づくりの推進を図ります。

また、村役場や外郭団体などの行政等の組織と相互に情報提供、連携を行い、役割分担を明確にしながら、協働により、「人・自然・文化が響き合うまち」東海村の実現を目指していきます。

交流と参加
のまちづくり

人・自然・文化が響き合うまち

新しい地域自治の仕組みとして発足した「地区委員会」の活動が始まっています。地域の課題やテーマに住民自ら考え、自ら行動し、行政との連携による“協働のまちづくり”を目指します。村内6地域のそれぞれの特色ある活動を紹介します。

District Committees

District committees, which were launched as a new mechanism of local autonomy, have begun to be active. The aim is for residents themselves to think about and act on local issues and themes and to participate in community development in cooperation with the administration. We introduce the unique activities of each of the six districts in the village.

委員会



防災訓練



真崎 地区委員会

組織づくりと並行して、住民の防災意識向上を目的とした防災訓練や、地域活性化を図る「ワークFOODフェスティバル2007」、また、青少年育成東海村民会議村松支部との共催で「松飾りと餅つき大会」を開催しました。今後は、新・旧住民一緒に活動している地域性を生かし、地区計画の検討や具体的な事業の展開に向けて、住民の理解と意識の高揚を図り、主体的なまちづくりを進めるための情報提供などを行っていきます。

第1回地域

祭りは約400人の参加でにぎわいました。現在、

安全・安心部会では地域

パトロールを実施、建設・

環境部会では花壇の整備を

中心に快適で人にやさしい

まちづくりを進めています。

また、支え合い・ふれ

あいの推進事業として80歳

以上の方の食事を実施し

ました。そのほかの部会に

についても組織化について検

討を開始するなど、協働に

よるまちづくりを目指して

活動を開始しています。

村松 地区委員会



花壇の整備



白方 地区委員会

恒例行事の「ふれあいしらかた交遊会まつり」を引き続き開催したほか、新しい試みとして第1回健康教室を実施しました。

今後は、農作物の生産を主としてきた地域としての特性を踏まえ、生産地帯としての展望と、開発が急速に進む居住地域の推移を見据えた地域づくりを進めていきます。そして、新しい白方小学校を中心とした、活気ある、住民が安心・安全に住めるまちづくりを目指していきます。



第1回石神ふれあい祭り

石神 地区委員会

平成18年度は委員会の規則や活動方針の検討など、組織づくりを中心とした初期的な活動を実施しました。また、第1回となる石神ふれあい祭りを開催したほか、地区委員会広報誌を創刊しました。

今後は、部会ごとの具体的活動の計画や住民への啓発と連帯感の醸成などを進め、平成21年度に予定されている学区自治会制度に向けた活動を推進していきます。



地区



第1回地域まつり

舟石川・船場 地区委員会

第1回地域まつりは、地域住民の参加を得て盛大に実施されました。開催に当たっては部会員相互、地域住民との連帯意識の醸成が図られ、大地と人がいきいきとしたまちづくりへの第一歩が記されました。

在宅福祉ボランティアや防犯パトロールなどの地域活動も盛んに行われており、今後は、地域の特性を生かした、大地に根を張った歩みを着実に進めていくことを目指します。



第1回中丸わいわいまつり

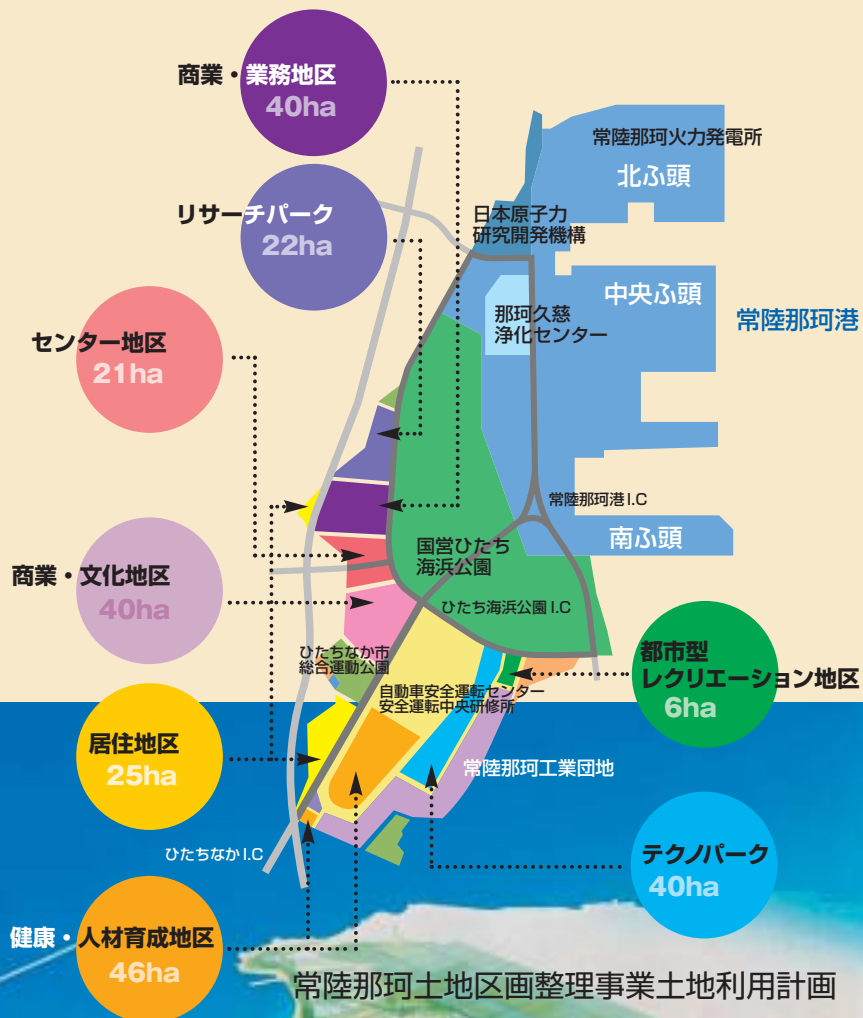
中丸 地区委員会

住民の交流を目的とした第1回中丸わいわいまつりやクローケー大会を実施したほか、広報誌の発刊や青少年育成村民会議と共催で、中丸ふれあいコンサート等を開催しました。平成19年度は、環境美化活動の実践や地域住民が交流できる場づくりを進めていきます。

今後の展望としては、個性と魅力あふれる地域として、住民主体で行う事業を通じ、中丸地区の名物となるようなものの創出を目指していきます。

あなたと出合い隊





ひたちなか 地区開発 と東海村のまちづくり

ひたちなか地区開発においては、21世紀にふさわしい新しいライフスタイルの実現を目指し、常陸那珂港、国営ひたち海浜公園、北関東自動車道など、国際港湾公園都市づくりが進められています。東海村域においては、平成10年に常陸那珂港北ふ頭内貿ふ頭、平成12年に外貿ふ頭が供用を開始し、さらに、平成15年には、最大出力100万キロワットの常陸那珂火力発電所1号機が営業運転を開始しました。

東海村のまちづくりにおける活用では、常陸那珂港やひたちなか地区開発の状況を村民にPRするなど情報提供に努めるとともに、アンケート調査を実施するなど、住民の意見把握に努めていく方針です。村としては、大強度陽子加速器施設（J-PARC）の稼働などにより大きな転機を迎えることから、開発メリットを最大限に引き出すことのできる土地利用を積極的に提案していきます。



ひたちなか地区開発概要図



自動車安全運転センター安全運転中央研修所



北関東自動車道ひたちなかI.C.

Hitachinaka District Development and Tokai Village Community Building

As a center for the development of the northern part of Ibaraki Prefecture, the construction of an international airport and park city is going ahead in the Hitachinaka district that straddles Tokai Village and Hitachinaka City. Projects that have been constructed and are now in operation include Hitachinaka Harbor, the National Hitachi Coastal Park, the Kita-Kanto Expressway, and the Hitachinaka Thermal Power Station. Tokai Village is making efforts to grasp the opinions of residents regarding city building and has a policy of actively making proposals for land use that brings out the merits of development.



東海村議会議員

後列左から、鈴木昇、猫塚豊治、沓澤茂樹、大内則夫、小林健介(副議長)、根本鉄四郎、村上邦男
 中列左から、坪常美、川崎孝志、橋本勤、舛井文夫、馬目暢之、高橋昭、永井一郎、飛田静幸
 前列左から、村上孝、豊島寛一、根本利隆(議長)、大名美恵子、井坂成子、田中順子、尾形みちよ

Administration

Tokai Village is promoting management of the municipal administration on the basis of the Tokai 21st Century Plan with the aim of creating a community in which people, nature, and culture exist in harmony. In order to realize this goal, residents and the local government are sharing roles and responsibilities and working together to promote community development.

On the financial front, the local government is striving for further efficiency and making efforts to ensure sound financial management.

行政

東海村では、「とうかい21世紀プラン」に基づき、「人・自然・文化が響き合うまち」を目指して、村政の運営を進めています。その実現のために、住民と行政が役割と責任を分かち合う、「協働」によるまちづくりを積極的に推進しています。

住民参加型の自治を進めることも、行政と住民をつなぐ広報紙『広報とうかい』や、村のホームページの充実を図り、誰もが必要な情報にアクセスできる体制を整えています。

財政面では、より一層の効率化を図り、健全な財政運営に努めています。

議会

東海村議会は、住民の代表である22人の議員で構成されています。年4回の定例会と臨時会が開催され、条例や予算などが審議・議決されます。

また、総務・文教厚生・建設経済環境の3つの常任委員会と議会運営委員会に加えて、原子力問題調査特別委員会、ひたちなか地区問題調査特別委員会などが設置されており、各分野で専門的な審議や調査を行っています。

定例会などの会議は一般に公開されており、傍聴席は34席(定員50人)で、車いすでの入場も可能です。また、会議の様子は中継されており、各コミュニティセンターや総合福祉センター「絆」でも視聴することができます。

Municipal Assembly

The Tokai Village Assembly consists of 22 members who are representatives of the residents. The assembly convenes four regular sessions a year and extraordinary sessions to discuss and vote on ordinances, the budget, and other issues. There are three standing committees and various special committees, including a special committee to investigate atomic-energy issues. These committees engage in specialized discussions and investigations. Regular sessions and other meeting of the assembly are open to the public and are accessible by wheelchair as well.



左から村上達也村長、渡邊政美副村長、高橋健彦教育長



住民課窓口